

山梨・赤甲城跡（現清道院）



山梨・赤甲（あかこう）城跡。

甲斐武田氏第11代当主・武田信成の居城跡。

現在

今は跡地に清道院が建っている。同院は応永5年（1398）、息子第12代当主・武田信春が清道院を開山した。

入って右手に案内文の[石碑](#)によれば、清道院の境内は武田信春の父信成の居城「赤甲城」とのこと。応永5年（1398）3月18日、赤甲城は、武田信成が信州へ出陣中に落城し、夫人が城内の井戸に身を投じて自害した。その井戸は、「ミナイノ井」といい、一日のうちに数度水色が変わるという言い伝えがある。

また門内に、信成公お手植えの松がある。

行き方など

県道34号線信号「八千代南」の信号を北へ。少し行くと、右手にスーパーがある。その約50メートル先の教会の案内板がある（わかりにくい）狭い道を右へ。少し行くと左手に清道院がある。

門を入れて左奥に写真の碑がある。入って右手に案内文の石碑と[身投げの井戸](#)がある。その奥が本堂。

駐車場ないのでスーパーを利用。トイレ、電話、自販機等なし。スーパーの前にラーメン店あり。

[INDEXへ](#)